

旧石器時代は 群馬で発見された？

語り部



岩宿博物館
小菅将夫さん

笠懸町(現・みどり市)教育委員会社会教育課を経て、岩宿博物館に。元同館館長。

謎解きキーワード

- ① 地元の考古学者
- ② 関東ローム層
- ③ 黒耀石の尖頭器

地元の考古学者が覆した日本の歴史の定説

「縄文時代より前の旧石器時代の日本列島には人は住んでいなかったというのが定説でした。それを覆したのが岩宿遺跡です」と教えてくれたのは岩宿博物館の小菅将夫さん。「昭和21年、相澤忠洋さんが赤土と呼ばれる関東ローム層の中に一片の石器を見つけ、その後の調査で黒耀石の尖頭器を発見。東京の学者と共同で発掘調査を行い、旧石器時代の存在が明らかになりました」。旧石器時代はどんな時代だったのか。「狩りをし、野生の動植物を食べていた時代。食べ物を求め移動しながら暮らしていたと思います」と小菅さん。そのことは石器からもわかる。「岩宿遺跡で見つかった黒耀石は群馬では採れません。一番多いのは長野

県和田峠周辺のもので、岩宿から100キロ以上離れた場所。大変貴重な品だったと思います。旧石器時代を明らかにした岩宿遺跡は日本の歴史の原点を塗り替える画期的な発見だったのだ。



上/1949年9月11日、最初の発掘調査(写真提供:明治大学)左/最初の発掘調査で出土した石器(明治大学所蔵)。下/ローム層から石器が発見された岩宿遺跡A地点。



行ってみよう！岩宿遺跡



〈みどり市〉岩宿遺跡・岩宿博物館 ●MAP B-3

岩宿遺跡の周辺は公園として整備されており岩宿博物館を併設。岩宿遺跡の出土品や資料を展示。石器づくり体験もできる(要事前予約)。みどり市笠懸町阿左美1790-1 ☎0277-76-1701 開9時30分~17時(最終入館16時30分) 閉9時 休(祝日は開館、翌日休)、年末年始 回あり

右/岩宿遺跡B地点にある岩宿ロームでは、地層断面のはざどり標本と、岩宿遺跡の時代を解説するビデオが見られる。中央/岩宿博物館内では、マンモスの全身骨格を展示。左/石器づくり体験の様子(開催日等は要問い合わせ)。

古墳時代から続く!? 群馬の粉食文化

古墳時代もあった小麦!?
時代を経て群馬に定着

群馬県は小麦生産量全国6位(令和2年)。「おっきりこみ」「焼きまんじゅう」「ひもかわうどん」など多様な粉もののグルメが根付いている。そもそも古墳時代の大規模な水田開発によって地域が豊かになった群馬に、なぜ粉食文化が広まったのか?小麦が日本に伝

わったのは弥生時代。古墳時代の遺跡からも麦が栽培された跡が見つかっている。その後、冬場の日照量が多く、乾燥する地域性を生かし、稲と麦の二毛作が広がり、小麦の生産が増えていった。古墳時代も小麦が食べられていたが、果たしてどのような形で食べられていたのか?古墳時代に思いを馳せながら、現代の群馬の粉ものグルメを楽しもう。

キーワード

- ① 弥生時代に伝来
- ② 稲麦二毛作の普及
- ③ 日照量と乾燥



高崎パスタ

高崎市はパスタを提供する店が多く、「キングオブパスタ」というイベントが毎年行われている。

幅広い麺を旬の野菜と一緒に煮込んだ料理。生麺を煮込むため、打ち粉が落ちて出てくるみが出る。

おっきりこみ



焼きまんじゅう



群馬県のソウルフード。蒸したまんじゅうに甘辛いみそダレを塗って香ばしく焼き上げる。

太田焼きそば



太田市で食べられている太田の焼きそば。各店で工夫を凝らしたソースを楽しめる。

ひもかわうどん

幅広く、つるつとした食感が特徴のうどん。幅は店ごとに違う。主に桐生市で親しまれている。



水沢うどん

渋川市にある水澤寺の付近で提供されていて、日本3大うどんの一つ。コシのある食感が特徴。



写真:「ググっとぐんま写真館」から転載